

○ SDGs を踏まえた目標及び基本理念

- （１）「環境人づくり」を通じた持続可能な社会の実現【重点項目】
- （２）環境学習の機会づくりと居場所機能の充実
- （３）協働の取組み

（１）「環境人づくり」を通じた持続可能な社会の実現【重点項目】	
基本的な方向性 「区民意識向上」と「指導者育成」を軸とする環境人づくりの推進	
課題	区民意識向上 環境教育の機会拡大 ・環境活動を担う人材の育成 ・事業者に対する環境教育の機会拡大 指導者育成 ・指導者育成の機会拡大 ・指導者の質の向上
ステップアップの方向性	区民の意識向上 ・多くの区民等に利用される環境教育・環境学習の拠点施設としての機能向上 ・家庭・地域・事業者を対象に、家庭に対する省エネや3R、自然体験・体験型学習、地域活動を含む地域に対する環境学習、事業者に対する環境教育(例:ESD)、HP・SNSを活用した情報発信を展開し、環境教育・環境学習の機会拡充 ・出前授業や体験型事業の充実を図り、次世代を担う子ども世代への働きかけの強化（出前講座は、出張講座に限らず、施設で実施する講座も可とする） ・事業者や若年層を対象とする活動・事業を展開し、区民全体の意識向上の拡大（「（２）環境学習の機会づくりと居場所機能の充実」に関連記載あり） 指導者育成 ・指導者育成の核となる事業の展開、指導者育成の基盤作り ・継続型講座や参観型研修、オンラインの活用など多様な受講内容・形の導入により参加機会の拡大、指導者の質向上

（２）環境学習の機会づくりと居場所機能の充実	
基本的な方向性 ・区民の意識向上と行動変容を促す多様な環境学習の提供(環境学習の機会づくり) ・子どもから大人まで幅広い世代が環境と触れ合える空間づくり(居場所機能の充実)	
課題	環境学習の機会づくり ・環境学習の素材であるコンテンツの充実(特に施設における展示) ・環境学習の事業の充実(多様な手法による事業展開／例:展示、講座、イベント、ワークショップ、フィールドワークなど) 居場所機能の充実 ・施設の有効活用(来館者に対する情報やサービスの提供による) ・幅広い世代がくつろぎながら環境と触れ合える場所の提供

ステップアップの方向性	環境学習の機会づくり ・施設において、常時、環境に関する展示やサービスの提供 ・施設内の諸室(例:環境実験室)を活用した活動・事業の展開 ・多様な学びの提供(例:展示、講座、イベント、ワークショップ、フィールドワーク(例:荒川生物生態園)など) ・デジタルを活用した学びの提供(デジタルコンテンツ(AR、プログラミング、デジタルサイネージ、動画配信など)) ・リサーチを踏まえ、時流に乗ったテーマに基づく活動・事業の展開(例:クリエイティブ(創造性)、ユネスコ(スクール)、ゼロカーボン、ネイチャーポジティブ、ビオトープなど) ・ウェルビーイング、クリエイティブ(創造性)、ユネスコの理念の視点での学びを提供し、区民の環境に関する取組みがそれぞれの生活の質の向上につながる活動・事業の展開 ・事業者や多世代を対象とした環境教育事業の展開 居場所機能の充実 ・地下1階のスペースについて、来館者の層(午前:乳幼児親子、午後:小学生)を踏まえ、居場所機能を活かした運営(活動・事業) ・乳幼児親子向けに「絵本のまちいたばし」と連携した事業の展開 ・小学生向けに、学びや体験(例:工芸など自由な発想による創作活動)を踏まえた活動・事業の展開
-------------	---

(3) 協働の取組み	
基本的な方向性 協働の取組み(パートナーシップ)を拡大し、環境教育の裾野を広げる	
課題	・地域に存在する人材や資源の発掘・活用 ・連携先の固定化 ・各主体(区民・学校・団体・企業等)をつなぐコーディネート機能の向上
ステップアップの方向性	・地域資源を発掘・活用した活動・事業、地域と連携した活動・事業(例:地域連携プロジェクト)の展開 ・地域人材を発掘・活用した活動・事業(例:環境団体や大学等と連携した活動・事業)の展開 ・連携の幅を広げる(連携する団体の幅を広げる、事業者など連携の対象を広げる、高校・大学との連携を広げる) ・区民・学校・団体・企業等をつなぐコーディネート活動の展開